

第2章 中央労働委員会全国連絡会議等の運営

1. 中央労働委員会全国連絡会議

中央労働委員会全国連絡会議は、旧国労委（公労委）において「国営企業労働委員会全国連絡会議」として昭和34年以降毎年1回開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第23回中央労働委員会全国連絡会議は、9月28日（水）労働委員会会館講堂において、中労委公労使委員、各区域の委員長（労委規則第88条第2項の規定により選挙された者）及び各区域代表公労使地方調整委員が参集して開催され、冒頭、中労委の菅野会長及び阿曾沼厚生労働事務次官から挨拶があった。次いで、東事務局長から中労委の活動状況の報告があった後、諏訪会長代理から「労働委員会における紛争処理～競合機関等との対比から～」、中野厚生労働省政策統括官から「最近の雇用失業情勢等について」と題する講演がそれぞれ行われた。

2. 地方調整委員長会議

地方調整委員長会議は、旧国労委（公労委）において「地方調停委員会委員長会議」として昭和32年以降毎年開催されてきたものを、統合後、踏襲した会議である。

第23回地方調整委員長会議は、9月28日（水）労働委員会会館総会室において、中労委公益委員及び各区域の委員長が参集して開催され、冒頭、菅野会長から挨拶があった。

次いで中労委事務局が「公務員制度改革について」と題する説明を行い、北海道、近畿及び四国区域の地方調整委員長から各区域の近況等について報告が行われた後、意見交換が行われた。